

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	伊藤 寛幸	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

当ゼミでは、「田園都市」を探究の客体としてとらえ、学際的アプローチによって「地域計画」の科学としての立場を学ぶ。加えて、農業農村を中心とする「地域」が観光の対象として注目されている今日、「田園都市」「地域計画」を通じて「観光」に関する総合的思考力を錬成する。具体的には、専門書を輪読する。さらに、修得した知識および技能によって、自ら課題を発見し解決する能力を身につけることをねらいとする。

● 到達目標

輪読によって以下の点を目標とする。

1. 「読む」を習慣化する。
2. 理論的思考を磨く。
3. 他者への伝達能力を磨く。
4. クリティカルリーディング力を磨く。
- 5 コミュニケーション力を磨く。

● 授業内容

- 1週目 ゼミの進め方の説明、報告順の決定。
- 2週目 『新訳 明日の田園都市』序文（現代都市計画との関連）に関する討議
- 3週目 『新訳 明日の田園都市』第1章（タウンとカントリー）に関する討議
- 4週目 『新訳 明日の田園都市』第2章（歳入：農用地）に関する討議
- 5週目 『新訳 明日の田園都市』第3章（歳入：市街地）に関する討議
- 6週目 『新訳 明日の田園都市』第4章（歳入歳出の概観）に関する討議
- 7週目 『新訳 明日の田園都市』第5章（歳出詳細）に関する討議
- 8週目 『新訳 明日の田園都市』第6章（行政管理）に関する討議
- 9週目 『新訳 明日の田園都市』第7章（準公共組織）に関する討議
- 10週目 『新訳 明日の田園都市』第8章（自治体支援作業）に関する討議
- 11週目 『新訳 明日の田園都市』第9章（課題検討）に関する討議
- 12週目 『新訳 明日の田園都市』第10章（各種提案）に関する討議
- 13週目 『新訳 明日の田園都市』第11章（改革への真の道）に関する討議
- 14週目 『新訳 明日の田園都市』第12章（社会都市）に関する討議
- 15週目 『新訳 明日の田園都市』第13章（ロンドンの将来）に関する討議
- 16週目 ゼミ全般に対する講評。ただし、やむを得ず15週目までの講義が実行できなかった場合に補講授業を実施。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

- ・ 日常において観光に関連する情報に関心をよせ、社会動向を常時チェックすること。
- ・ 週3時間の予習復習を行うこと。予習復習については、講義中に指示する。

● 成績評価の方法・基準

輪読内容のプレゼンテーション40%、期末試験60%

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

- ・ 報告者以外のゼミ生についても資料を精読のうえで、論点を整理し討議に積極的に参加すること。
- ・ 成績評価は、全講義の2/3以上出席した学生を対象とする。
- ・ 提出されたレポート等に対しては、採点したうえでコメントを加えて返却（フィードバック）する。

● テキスト

特に定めない。

● 参考書

授業で随時紹介する。

● 更新日付

2019/02/25 03:50